



小松ウオール工業株式会社 | 東証プライム 7949

2024年3月期 決算補足資料

2024年4月25日

■ 2024年3月期 決算概要	3
■ 2025年3月期 業績予想	9

2024年3月期実績

- オフィス改修などで高付加価値品が伸長し、売上高は15%増収と過去最高
- 品目別では全品目で増収、特にオフィス向けが好調で可動間仕切は17%増収
- 軽量ドアやトイレブースでは価格引き上げも浸透し、営業利益は58%増の36億円
- 期末の受注残は、新築ビル向けの可動間仕切と前期に大口受注があった移動間仕切がやや減少したものの、全体としてはやや増加

2025年3月期予想

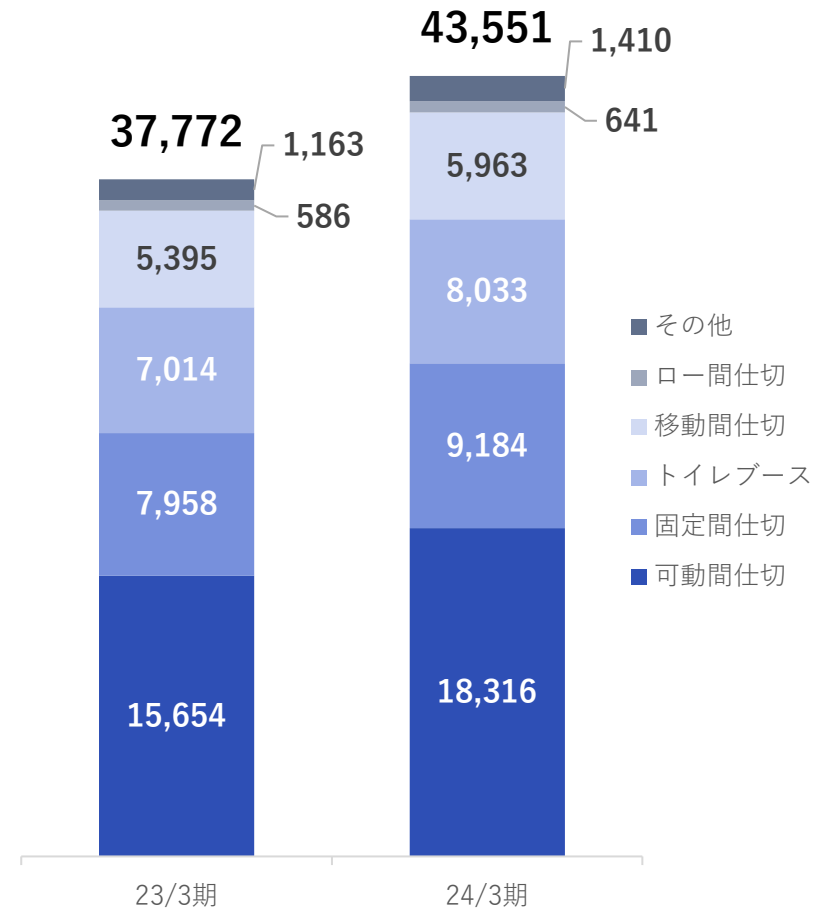
- オフィスの改修需要などが引き続き堅調、病院等での軽量ドアの回復もあり、売上高は前期比5%増収を予想
- 人件費の上昇等を背景とした物流コストや資材価格上昇を見込むものの、営業利益は4%増益と引き続き増益を予想

株主還元

- 24年3月期の配当は前期比30円増の125円、従来予想比でも5円の増配を予定
- 25年3月期も、純資産配当率（DOE）3.0%を上回る130円への増配を予想

売上高

(百万円)



2024年3月期 決算補足資料

2024年3月期 決算概要

決算概要

■ 品目別では全品目が増収、特にオフィス向けが好調で売上高は前年同期比15.3%増収、従来予想比でも4.9%増収

■ 増収を主因に営業利益は前期比57.8%増益、営業利益率も8.4%へ上昇。配当も前期比30円増配し125円を予定

単位：百万円	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期従来予想 (23年10月時点)		2024年3月期実績		前期比 増減率	予想比 増減率
売上高	34,541	100%	37,772	100%	41,500	100%	43,551	100%	15.3%	4.9%
営業利益	1,780	5.2%	2,306	6.1%	3,400	7.3%	3,640	8.4%	57.8%	7.1%
経常利益	1,847	5.3%	2,363	6.3%	3,470	7.4%	3,732	8.6%	57.9%	7.6%
当期純利益	1,240	3.6%	1,627	4.3%	2,320	5.0%	2,775	6.4%	70.5%	19.6%
1株当たり 当期純利益	133円76銭		175円28銭		249円44銭		298円07銭		70.1%	19.6%
1株当たり 配当金	85円00銭		95円00銭		120円00銭		125円00銭		31.6%	4.2%

品目別売上高

■ 全品目で増収、特に可動間仕切はオフィスや工場向けが好調、軽量ドアなどの固定間仕切とトイレブースも値上げ効果や競争緩和により増収

■ 受注残は可動間仕切と移動間仕切が減少、可動間仕切は新築ビル向けの受注がやや減少、移動間仕切は前期に大型の受注があった反動

単位：百万円	2023年3月期	2024年3月期					
	実績	実績	前期比増減率	受注高	前期比増減率	受注残高	前期比増減率
売上高	37,772	43,551	15.3%	43,684	8.7%	16,679	0.8%
└ 可動間仕切	15,654	18,316	17.0%	18,173	10.4%	4,054	△ 3.4%
└ 固定間仕切	7,958	9,184	15.4%	9,902	21.5%	5,024	16.7%
└ トイレブース	7,014	8,033	14.5%	8,040	4.7%	3,138	0.2%
└ 移動間仕切	5,395	5,963	10.5%	5,626	△7.9%	4,056	△ 7.7%
└ ロー間仕切	586	641	9.4%	622	3.1%	67	△ 22.0%
└ その他	1,163	1,410	21.3%	1,320	10.8%	339	△ 21.1%

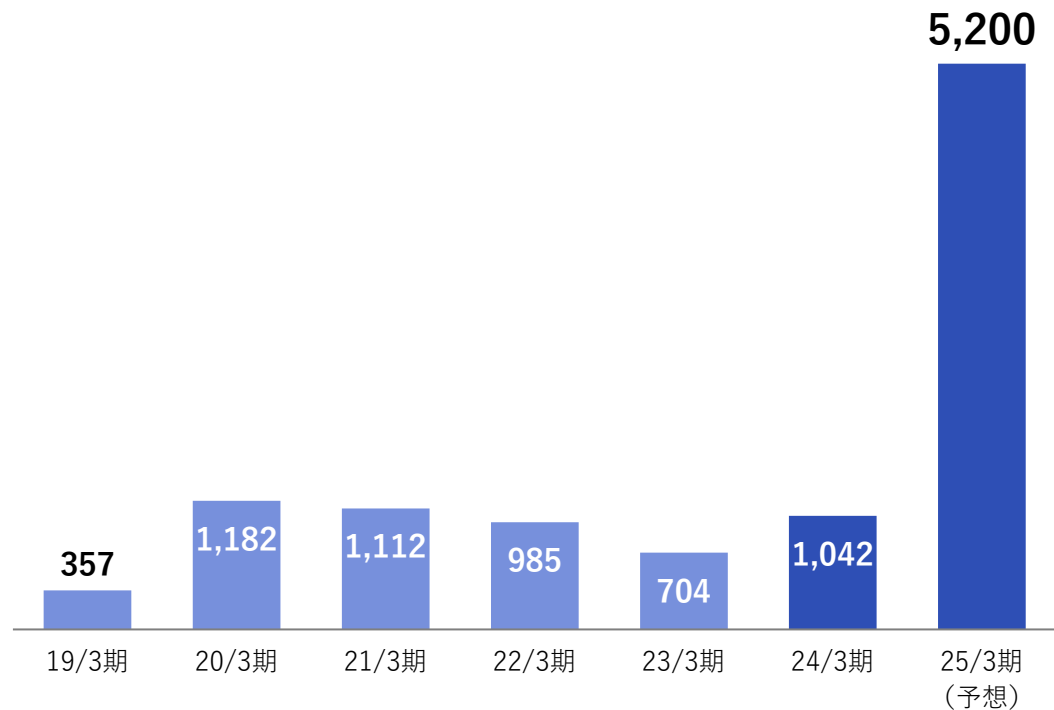
設備投資、減価償却費

■ 2024年3月期は名古屋ショールームへの投資や既存機械設備の維持更新等で1,042百万円の設備投資を実施

■ 2025年3月期は加賀工場2号棟建設、東京や大阪ショールームへの投資等で5,200百万円の設備投資を計画

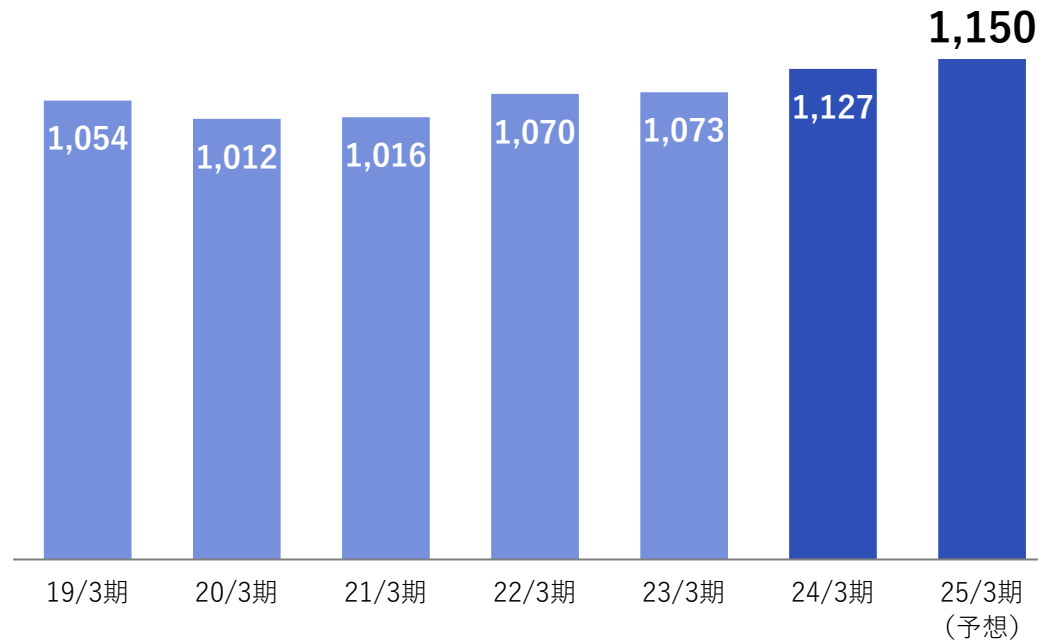
設備投資

(百万円)



減価償却費

(百万円)



貸借対照表

■ 増益に伴い現預金と純資産が増加

単位：百万円	2022年3月期末	2023年3月期末	2024年3月期末	前期末差
流動資産	27,472	29,999	32,539	2,540
現預金	15,335	15,579	17,640	2,061
売上債権	11,115	13,181	13,615	434
棚卸資産	818	1,023	1,123	100
固定資産	14,670	14,760	14,915	155
有形固定資産	11,918	11,922	11,767	△155
無形固定資産	450	420	385	△35
投資その他の資産	2,300	2,418	2,763	345
総資産	42,143	44,760	47,455	2,695
負債	6,743	8,535	9,388	853
買掛金	1,956	2,345	2,350	5
有利子負債	0	0	0	0
純資産	35,399	36,225	38,067	1,842
負債純資産合計	42,143	44,760	47,455	2,695

キャッシュ・フロー計算書

■ 増益により営業キャッシュ・フローは4,273百万円、フリーキャッシュフローも3,102百万円のプラス

■ 増配に伴い配当金の支払額は増加したが、期末現預金は13,521百万円と前期比でも2,045百万円増加

単位：百万円	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	前期差
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,871	1,676	4,273	2,597
税引前当期純利益	1,847	2,446	3,744	1,298
減価償却費	1,070	1,073	1,127	54
売上債権の増減額 (△は増加)	563	△2,064	△434	1,630
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△160	△204	△99	105
仕入債務の増減額 (△は減少)	134	389	4	△385
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,535	△636	△1,171	△535
有形固定資産の取得による支出	△847	△583	△916	△333
定期預金の預入・払戻による支出入	△600	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△805	△810	△1,056	△246
配当金の支払額	△805	△804	△1,041	△237
現金及び現金同等物の期末残高	11,246	11,476	13,521	2,045
フリーキャッシュ・フロー	1,336	1,040	3,102	2,062

2024年3月期 決算補足資料

2025年3月期 業績予想

業績予想

- オフィスの改修需要などが引き続き堅調、病院等での軽量ドアの回復もあり、売上高は前期比5.6%増収を予想
- 人件費の上昇等を背景とした物流コストや資材価格上昇を見込むものの、営業利益は4.4%増益と引き続き増益を予想
- 引き続き純資産配当率（DOE）3%を上回る配当を実施予定で、配当は前期比5円増配の130円を予想

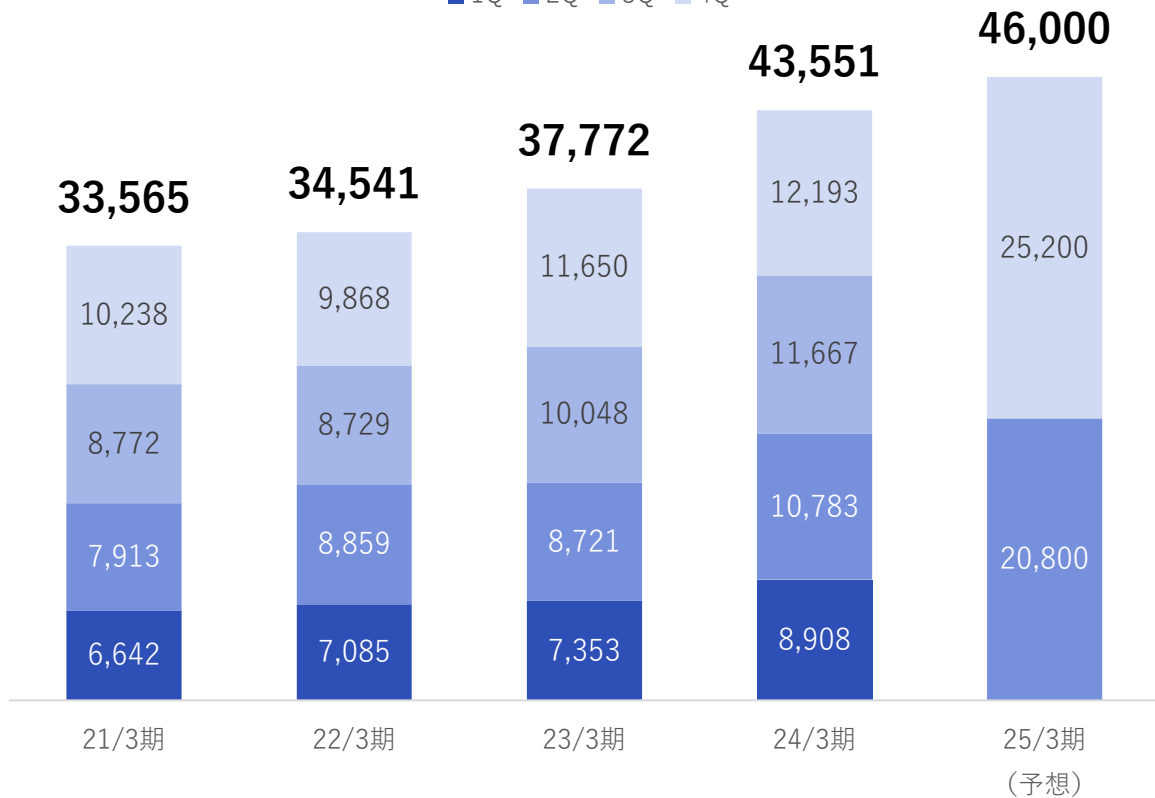
単位：百万円	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期 通期予想		前期比 増減率
売上高	37,772	100%	43,551	100%	46,000	100%	5.6%
営業利益	2,306	6.6%	3,640	8.4%	3,800	8.3%	4.4%
経常利益	2,363	7.0%	3,732	8.6%	3,850	8.4%	3.2%
当期純利益	1,627	4.8%	2,775	6.4%	2,850	6.2%	2.7%
1株当たり利益	175円28銭		298円07銭		306円06銭		2.7%
1株当たり配当金	95円00銭		125円00銭		130円00銭		4.0%

四半期業績推移

- 2024年3月期は売上高はオフィス向けの好調などから四半期を通じて増収、営業利益は4Qは人件費や物流コスト上昇等により減益
- 25年3月期2Q累計は新築ビル向けの端境期により増収率が鈍化、物流コスト等の影響により営業減益を予想するものの、新築ビルが回復する下期は増収効果により営業増益に転じ、通期でも増収増益を予想

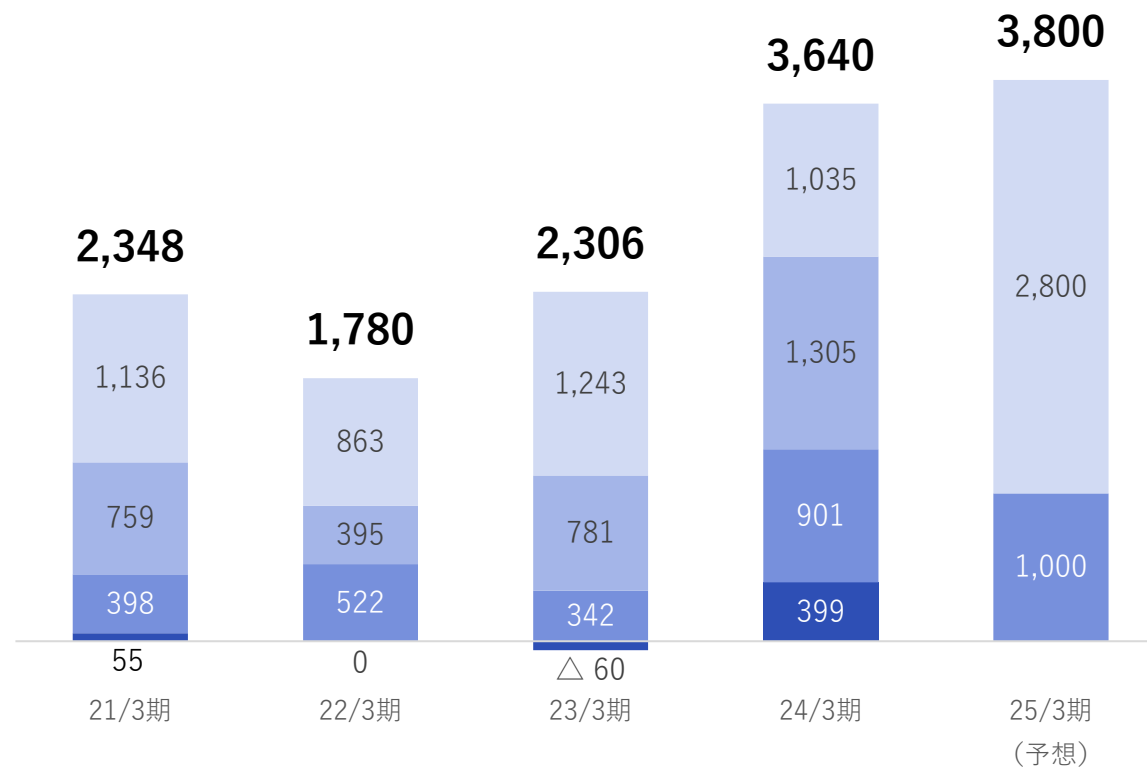
四半期売上高

(百万円)
■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



四半期営業利益

(百万円)
■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



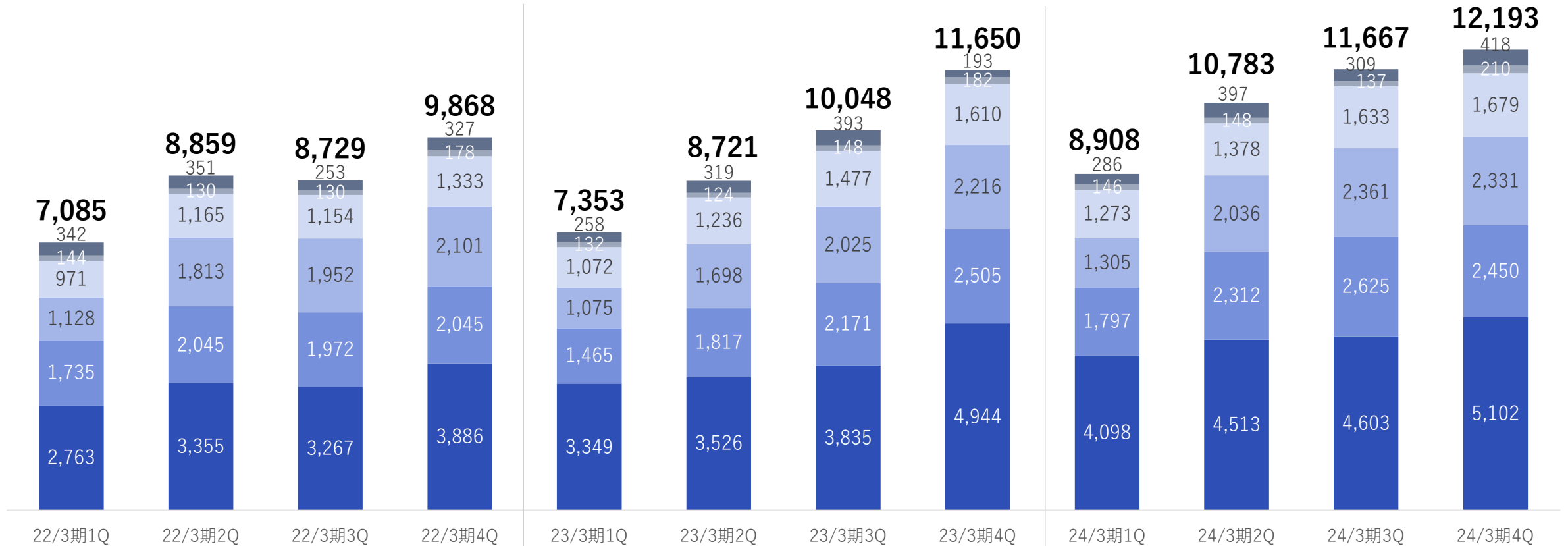
四半期品目別売上高推移

■ 2024年3月期4Qの売上高は可動間仕切や移動間仕切がオフィス向けを中心に堅調に推移、軽量ドアなど固定間仕切は前4Qが好調だった反動で減収となったが、下期で見れば前年同期比増収

品目別売上高

(百万円)

■ 可動間仕切 ■ 固定間仕切 ■ トイレブース ■ 移動間仕切 ■ ロー間仕切 ■ その他

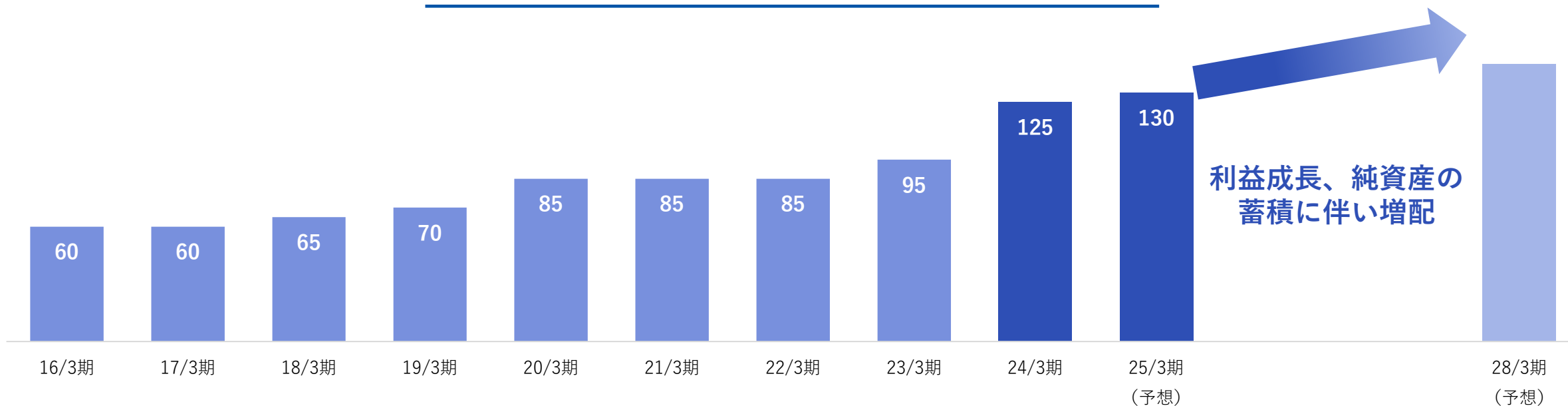


- 2023年4月に株主還元方針を変更。方針変更に基づき24年3月期は125円（DOE 3.1%）の配当を実施予定（従来予想比5円増配）
- 2025年3月期も増収増益を計画、上記配当方針に基づき5円増配の130円配当を計画

株主還元方針

純資産配当率*（DOE）3.0%を下限とする配当を実施し、
持続的な成長の実現等により配当水準の安定的向上を目指す

1 株当たり配当金推移（円）



*純資産配当率（DOE）＝当事業年度に基準日が属する普通株式に係る1株当たり配当金/1株当たり純資産（期首・期末の平均値）×100



小松ウォール工業株式会社 | 東証プライム 7949

お問合せ先

小松ウォール工業株式会社
総務部

TEL 0761-21-3131(代表)

https://www.komatsuwall.co.jp/form/form.php?form_id=201

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。